

## 水戸済生会総合病院 内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

### <特徴>

本院が目指す医師像は、「疾患」ではなく、「患者さん」を総合的に診療できる能力を持つスペシャリスト（専門医）です。このため、本院の内科専門研修プログラムは、できるだけ早い時期にサブスペシャリティ領域の専門医資格を取得できるように配慮しています。具体的には、連携施設研修を早い時期に行い、サブスペシャリティ研修を組み込む「連動研修」を基本にローテーションを調整していきます。

また消化器内科、腎臓内科、循環器内科については、本院での研修のみでサブスペシャリティ専門医の受験資格が得られます。つまり、受験資格を満たすために（＝経験症例を確保するために）施設の異動を行う煩わしさがありません。じっくりと腰を据えて、技術の取得と経験症例数の確保に専念できる環境です。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
内科専門研修
内科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)
<b>(1)地域枠(義務年限9年間)</b>											
ケース1	初期研修	水戸済生会総合病院	A1	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院		当院で最大限に研修する場合
						(内科専門医取得)		(Subspecialty専門医取得)	(義務年限修了)		
ケース2	初期研修	水戸済生会総合病院	A1	水戸済生会総合病院	B1	B2	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院		大学病院での研修を含んだ場合
						(内科専門医取得)		(Subspecialty専門医取得)	(義務年限修了)		
<b>(2)一般修学(義務年限6年間)</b>											
ケース1	初期研修	水戸済生会総合病院	A1	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院						当院で最大限に研修する場合
						(内科専門医取得)					(義務年限修了)
ケース2	初期研修	水戸済生会総合病院	A1	水戸済生会総合病院	B1又はC1	水戸済生会総合病院					大学病院での研修を含んだ場合
						(内科専門医取得)					(義務年限修了)

### 【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	水戸済生会総合病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	水戸協同病院、水戸医療センター、ひたちなか総合病院、県立中央病院、、水戸赤十字病院、茨城東病院、水府病院、城南病院、常陸大宮済生会病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院
C群病院群(県外・海外病院)	千葉大学医学部附属病院